

## 平成29年度施政方針を問う！



無所属の会 市民の力 ● 森 すなお 議員

**問** 「まちづくりを進めるため、議員の理解や協力を求める」との施政方針は、市長提出議案の趣旨を理解して、市民のために最良の判断を議員に求めることと理解しますが、それは市長が議員の発言に耳を傾け、議会の結論を重く受け止め、議会に真摯に向き合うことを前提に成立するものだと思いますが、市長の見解を求めます。

**答** 協働によるまちづくりを進める必要がありますと認識しています。

**問** 昨年12月議会で、一般会計補正予算を全会一致で修正議決（石部中の給食食器などの予算を削除）したことに対し、市長がSNSで公表したコメントが事実と異なっていたり、受け手側に誤解を与えたりしています。

例えば、委員長報告で明確な修正理由が報

告されているのに「修正理由がよく分からなかった」とか、また、給食をセンター方式へ移行するため、施設で使用可能な食器への買い替えであるのに、「石部中だけ新しい食器に買い替えられない」とか、さらに、説明文（センター方式へ移行）の保護者への配布を議会には知らせていないのに「事実説明文を配布したこと」を知りながら全く議論のないままに全員で修正議決をされました」など。

公人である市長が、議会で生じた事実について、その事実と異なる内容や市民に誤解を与える内容を不特定多数に対して、SNSなどにより発信する行為は、厳に慎むべきだと思いますが。

**答** 一つの反省すべき事例と捉えさせていただけだと思います。

## 施政方針を紐解く ～増税するのか否か～



誠心会 ● すがぬま 利紀 議員

**問** 市長は施政方針で新たな税財源のあり方を述べられ、新たな税財源として「都市計画税の導入」「法定普通税率見直し」「法定外目的税新設」を具体例として挙げられています。12月議会の所信表明でも同じように述べられており、増税へ踏み切る決意を感じています。その本気度は。

**答** ご存じの通り、市の財政も硬直化が進み、将来の市民サービスについては不安があると感じます。子育てや介護サービスなど、さらなる充実を求める市民の声を実現していくためにも、新たな税への議論が市民や議会ですタートすることを望んでいます。

**問** 市民への負担増の議論をはじめ前に、市として歳入増加の取り組みを行うべきではないですか。

**答** 公共施設の統廃合を含む行政改革による歳出減と平行に、企業誘致や都市計画による歳入の増、公共施設使用料の見直し、市有財産の活用、広告事業などの拡充も取り組んでいます。

**問** 予算編成方針で市長は、「前例踏襲という固定概念から脱却し、類似事業の統合、廃止を積極的に行うことを遵守すること」を掲げていますが、平成29年度予算内で明確に実行されていません。予算編成方針は調査研究し、時間をかけて作成されているはずですが、それで効果が出ないのならば新たな手法を用い予算編成を行うべきではないですか。

**答** 指摘の通り、予算編成方針のあり方や予算編成への流れそのものも再考する必要があると感じました。